

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 6月

平成30年6月1日の推計人口 1,342,367人
世帯数 562,042世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年6月1日現在の推計人口は、1,342,367人で、前月(1,343,329)に比べ962人の減少となった。

市部では大村市(28)、対馬市(4)の2市で増加し、長崎市(373)、佐世保市(172)、西海市(97)、雲仙市(93)、南島原市(61)、平戸市(52)、壱岐市(25)、五島市(21)、島原市(18)、諫早市(17)、松浦市(2)の11市で減少した。

郡部において佐々町(8)、長与町(7)、小値賀町(1)の3町で増加し、波佐見町(21)、時津町(20)、新上五島町(17)、川棚町(15)、東彼杵町(6)の5町で減少した。

自然動態は、出生数879人、死亡数1,512人で633人の減少、社会動態は、転入者数3,119人(県内転入を含む)、転出者数3,448人(県内転出を含む)で、329人の減少となった。

2 世帯数

平成30年6月1日現在の世帯数は、562,042世帯で前月(562,108)に比べ66世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 4月

1人あたり現金給与総額 245,706円
対前月比 5.9%減少
対前年同月比 4.7%減少

1 賃金

4月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額245,706円で、前月に比べ5.9%減少し、前年同月に比べ4.7%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は243,734円で、前月に比べ0.4%減少し、前年同月に比べ2.7%減少した。

特別給与額は1,972円で、前年同月に比べ、5,567円減少した。

2 労働時間

4月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は152.8時間で、前月に比べ1.0%増加し、前年同月に比べ5.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.3時間で前月に比べ1.6%増加し、前年同月と比べ4.4%減少した。

所定外労働時間数は11.5時間で、前月に比べ4.9%減少し、前年同月に比べ14.2%減少した。

3 雇用

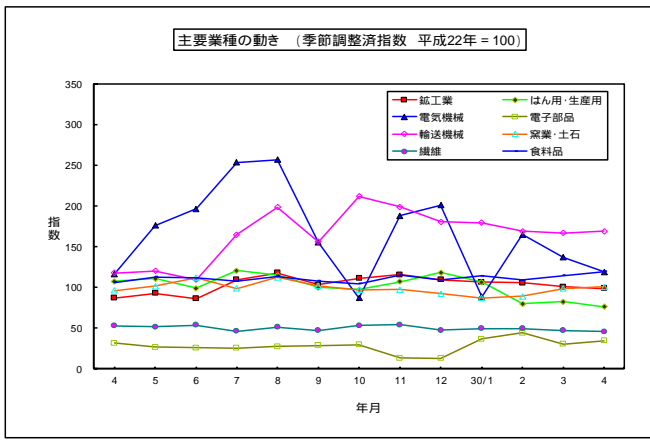
4月の常用労働者数は224,723人で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ3.6%減少した。

【鉱工業生産指数】…………… 4月

平成30年4月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	前月比(%)			
長崎県	98.6	2.2	100.1	13.4
九州	p114.0	p2.9	p106.9	p3.4
全国	104.6	0.5	100.8	2.6



平成30年4月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が98.6で前月比は2.2%の減、原指数は100.1で、対前年同月比は13.4%の増となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業など9業種が上昇し、電気機械工業、はん用・生産用機械工業、繊維工業など4業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	12.8	10.2	シリコンウエハ
食料品工業	4.3	13.2	煮干
窯業・土石製品工業	2.2	4.2	生コンクリート
輸送機械工業	1.2	33.9	修繕船

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	12.9	21.2	交流電動機
はん用・生産用機械工業	7.7	27.3	タービン
繊維工業	3.2	12.5	ニット製靴下

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】..... 5月

総合指数(H27=100)	102.5
対前月比 (%)	1.1
対前年同月比 (%)	1.6

平成30年5月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、102.5である。

前月比は、1.1%の上昇で、主な上昇要因は「住居」の+4.0%、「食料」の+0.4%であり、主な下落要因は「教養娯楽」の0.3%、「諸雑費」の0.3%である。

前年同月比は、平成30年2月は+1.4%、3月は+1.3%、4月は、+0.9%と推移した後、5月は1.6%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.6であり、前月比+1.1%、前年同月比は+1.8%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.4%
住居	4.0%
光熱・水道	0.8%
家具・家事用品	3.2%
交通・通信	0.3%
教養娯楽	0.2%

下落した費目

被服及び履物	0.3%
保健医療	0.2%
教養娯楽	0.3%
諸雑費	0.3%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】..... 5月

消費支出(一世帯当たり) 289,275円
前月比 16,034円減(5.3%減)

平成30年5月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は289,275円で、前月比5.3%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は71.4%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	73,207	0.2
住居	16,407	6.7
光熱・水道	20,536	5.3
交通・通信	36,754	2.0
教養娯楽	24,087	8.0

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。